



# 荒川太郎右衛門地区自然再生事業

## Arakawa Tarouemon Area Nature Restoration Project

### 自然再生事業について

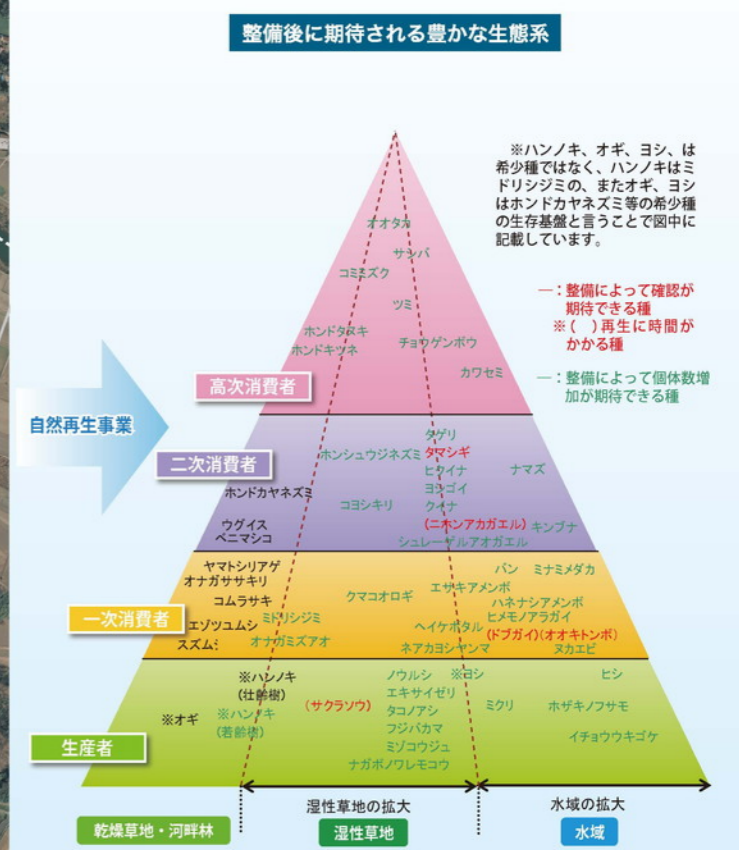
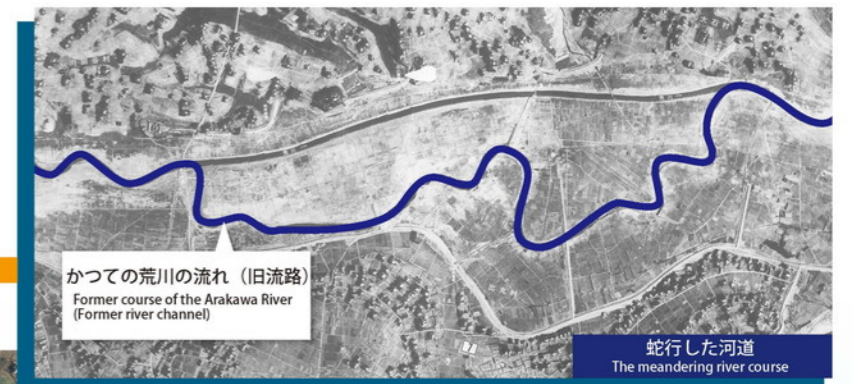
「荒川」は、甲武信ヶ岳に源を発し、秩父盆地・長瀬渓谷を経て関東平野の埼玉・東京の都県境を流れ、東京湾に注ぐ長さ173キロメートルの一級河川で、「太郎右衛門自然再生地」はその中流部の桶川市・川島町・上尾市に位置する広大な河川敷です。

「太郎右衛門」の名称は、江戸時代にこの地で渡し船を開設した人の名前とされ、この地域や橋の名称に今も受け継がれています。

「太郎右衛門自然再生地」は、かつて行われた河川改修で荒川の本流が直線になったとき、旧流路として残った3つの「池」を中心とした場所です。

しかし、かつて湿地が広がっていたこの場所は、「①冠水頻度の低下や旧流路への土砂堆積等により乾燥化が進んでいる」「②樹林地が高木・壮齢化してしまい河畔の特徴的な姿が失われてきている」という大きな課題があります。

「荒川太郎右衛門地区自然再生事業」は、この「太郎右衛門自然再生地」で、本来の自然環境を取り戻そうとする「自然再生推進法」(平成14年制定)に基づく事業です。



### 旧流路の保全・再生 Conservation and restoration of former river channel

旧流路(上池・中池・下池)の保全・再生を目的に、開放水面の創出を図っています。Work is under way to create open water areas with the aim of conserving and restoring the former river channels (Kami-ike Pond, Naka-ike Pond and Simo-ike Pond).



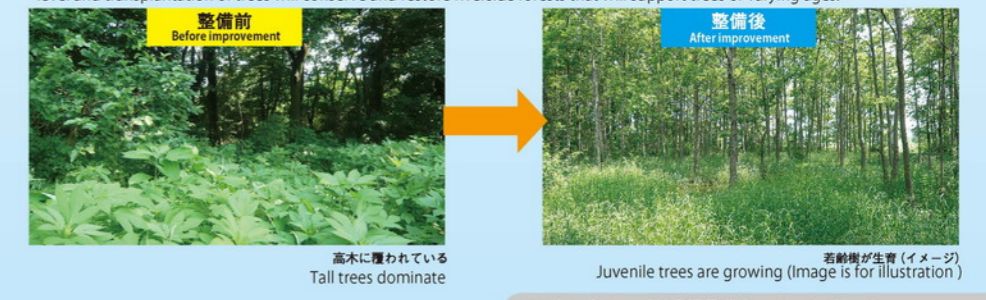
### 湿地及び止水環境の拡大 Expansion of the wetland and still-water environments

上池周辺の高水敷では、地盤の切り下げ等により、湿地及び止水環境の拡大を実施しています。On the flood plain around Kami-ike Pond, the wetland and still-water environment is being expanded by lowering the ground level.



### 河川敷の保全・再生 Conservation and restoration of riverside forests

高木・壮齢樹林化しているハンノキ等の河川敷においては、間伐、下刈り、盤下げ、移植等を行うことにより、多様な樹齢の樹木が生育する河川敷を保全・再生します。In riverside forests of tall, mature alder trees, the thinning of the trees, clearance of undergrowth, lowering of the ground level and transplantation of trees will conserve and restore riverside forests that will support trees of varying ages.



100m 下池出口 Simo-ike Pond EXIT  
1.2km 中池 Naka-ike Pond  
6.2km 上池入口 Kami-ike Pond ENTRANCE

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会からのお願い。自然に配慮した利用をお願いします。

ゴミは持ち帰りましょう Take your garbage home 请将垃圾自行带回 쓰레기는 가지고 돌아가십시오

危険な行為や他人の迷惑になる行為はやめましょう Do not commit dangerous acts or bother others 禁止危險動作以及对他人带来麻烦的行为 위험한 행위나 타인에게 폐가 되는 행위를 하지 마십시오

野生の動植物の採取はしないで下さい Do not remove fauna or flora 请勿捕捉动物、采摘植物 동물을 포획하거나 식물을 채취하지 마십시오



スマホでQRコードを読み取ると、この看板の外国語版や周辺のヒストリー等の位置や歴史などの詳しい情報が確認できるよ。

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会事務局 〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 3-12 TEL : 049(220)0145(直通)